

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
経済と経営		選択	2	1.2	前期・後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	D302	noboru.matsuzaki	月曜日 12:30~14:40		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉経済・経営とは何だろうか、現代日本の経済・経営はどのような状況にあるのだろうか、TV・Net・新聞等に取りざたされている経済的・経営的諸問題はどうか考えたらいのだろうか。</p> <p>本科目は、学生が経済・経営を学ぶことを通じ、現代日本における経済・経営的諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査考察発表討論できるようになることを目的とする。</p> <p>〈概要〉経済・経営の基本および両者の現代日本の諸展開について学習する。</p> <p>終盤には、受講生が発表したり、受講生同士で議論したりする機会も設けてある。</p> <p>授業は教室対面式であるが、課題提出には Teams を用いる。</p>				
学習上の助言	<p>1. 国内外の経済・経営的な諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ考えてみる。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point を事前に up する予定なので、印刷可能な人は Print out するなりし、あらかじめ目を通しておくことを勧める。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	経済学および現代の日本経済について、基本的事項を説明することができる。			HSU(2)、WP(3)	
②	経営学および現代の日本経営について、基本的事項を説明することができる。			HSU(2)、WP(3)	
③	日本経済・経営の諸問題について、自分で考え説明することができる。			HSU(6)、WP(2)	
④	身の回りからみた経済・経営、ないし山梨経済・医療経済等について調査考察し、Power Point 等を用いて発表できる。			HSU(4)、WP(3)(6)	
⑤	同上等の論点に関し、受講生同士で議論できる。			HSU(4)(5)、WP(3)(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	経済の仕組みを学ぶ(国内総生産・豊かさ・国富等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
2	産業・企業を学ぶ(産業分類・法人企業統計等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
3	就業・家計を学ぶ(失業・労働分配率・所得格差等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
4	金融を学ぶ(預金・債券・株式の異同、金融市場等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
5	財政を学ぶ(中央と地方・政府全収支・財政赤字論等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
6	対外経済関係を学ぶ(貿易・為替・国際収支・対外純資産等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
7	経済運動を学ぶ(物価・景気・成長)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
8	日本的経営を学ぶ(日本株式会社・会社主義・三特徴等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
9	経営管理を学ぶ(CG・意思決定論・Leadership 論等)。	同時双方向型授業	指定課題を作成し提出する。	4	
10	経営組織を学ぶ(組織論・組織形態論・財務諸表等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
11	経営戦略を学ぶ(競争・成長・Marketing・Innovation 等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
12	山梨の経済・産業・企業を学ぶ(数値からみた特徴等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
13	医療の経済・産業・企業を学ぶ(数値からみた特徴等)。	講義	指定課題を作成し提出する。	4	
14	受講生による発表・質疑応答 1。	発表	指定課題を作成し提出する。	4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

15	受講生による発表・質疑応答 2、Discussion、まとめ。	発表・討論・講義	期末 Report の課題を提示するので、作成し提出する。	4			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	30	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		受講生による Power Point 等作成・発表・質疑応答、 ならびに受講生同士による Discussion を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発言の質量等に着目する。				Comment する。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
1. 授業は原則教室対面方式であるが、Teams を用いる回もある。 念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 2. 受講生による発表は、受講人数等により、回数変更等を行うことがある。 3. 本科目は教室対面式の授業を行うので、受講生は大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 問題がある場合には授業への参加を認めない。 4. 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってはシラバスの変更もありうる。その場合には告知する。							